

平成30年度第2回一宮町文化財講座

一から学ぶ、一宮の歴史

【テーマ別編②】上総廣常の実像～史実と伝説の狭間で～



▲「上総廣常」(『本朝百将伝』明暦2年(1656)、
国立公文書館デジタルアーカイブより引用)

2020年、東京2020オリンピック競技大会のサーフィン競技が一宮町で開催されます。しかし、一宮にはサーフィンだけでなく、様々な魅力があります。その一つが歴史ある風土でしょう。各地域に様々な文化財があり、地域の人々に守られています。

今回の講座は「テーマ別編」の第二弾、平安時代末期に活躍した上総廣常を取り上げます。廣常は最終的に源

頼朝に謀殺され

てしまったため、その存在は千葉常胤の陰に隠れてしまい、実像がなかなかつかめず、謎に包まれています。しかしながら、様々な伝承や史跡が今に伝わっています。廣常の実像は？なぜ殺されたのか？、などなど一からわかりやすくその謎に迫ります。



▲高藤山城址の古蹟の碑(町指定史跡)

○とき 平成30年11月10日(土)

午後1時30分～(3時頃終了予定)

○ところ 一宮町中央公民館・大会議室

○講師 江澤一樹(一宮町教育委員会学芸員)

○問合せ 一宮町教育委員会 42-1416

※参加無料、定員はありませんので、どなたでもご参加できます。